

- 農場管理を“見える化”し、食の安全を確保する最新手法 GAP -

新基準書「JGAP 2016」完成！

ベーシック アドバンス
- 日本発の国際規格を目指しBasicとAdvanceの2本立てに -

「GAPとは、農業生産の環境的、経済的及び社会的な持続性に向けた取組みであり、結果として安全で品質の良い食用及び非食用の農産物をもたらすもの。」(FAOの定義)とされ、日本では2000年頃から徐々に普及が始まりました。

日本GAP協会は、日本の業界標準となり、かつ世界に通用する日本の本格的な第三者認証のGAPを創り普及することを目的として2006年より活動してきました。その結果、認証農場数は3,954(2016年3月末)に達するなど着実に支持を広げてきております。また、英語版・中国語版・ハングル版のJGAP基準書の作成や、台湾、香港に事務所を設置し、アジアへの普及にも取り組んでおります(海外の認証農場は台湾1、韓国6)。

この度、JGAP基準書の更なる進化を図ると同時に、GAPを巡る情勢の変化に対応するための新たな要素を導入した新基準書である「JGAP 2016」を完成させ、本日公表いたしました。その概要は次の通りです。

新たなJGAP基準書「JGAP 2016」は、日本国内の取引に加え、輸出にも対応した日本発の国際規格を目指し、日本の標準的なGAPとして必要十分な内容を備える「JGAP Basic 2016」と、GFSI等の追加要求にも対応する「JGAP Advance 2016」の2本立てで、日本農業の成長を後押しします。

問合せ先：荻野(おぎの) TEL 03-5215-1112 FAX 03-5215-1113 E-mail: info@jgap.jp

(取材を希望される場合は、下記を記入の上、FAXまたはE-mailで送付ください。)

御社名	部署名	御名前
住所	電話番号	

新たな JGAP 基準書の概要

(1) JGAP Basic 2016

現行の JGAP 基準書の後継であり、近年持続可能性の観点からも国際的に重視されている人権の尊重などの新しい要素も加え、日本の標準的な GAP として必要十分な内容を備えます。

現行 JGAP 基準書は青果物が JGAP 2010、穀物及び茶が JGAP 2012。

(2) JGAP Advance 2016

「GFSI ガイダンスドキュメント」レベルのより広範囲にわたる食の安全に関するリスク管理や、労働者の雇用条件の確認等の追加要求に対応します。

GFSI とはグローバルに展開する小売業・食品メーカーで組織される The Consumer Goods Forum の下で 2000 年に設立。具体的な活動の一つとして、食品安全にかかわる認証制度についてベンチマークの仕組みを提供しており、その要求事項を「GFSI ガイダンスドキュメント」としてまとめている。GFSI ベンチマークの仕組みによって承認を受けた認証制度は「GFSI 承認スキーム」と呼ばれ、現在、世界で 9 スキームある。

(3) Basic と Advance に共通する特徴

農林水産省「農業生産工程管理 (GAP) の共通基盤に関するガイドライン」への準拠

人権・労務管理に関する管理点、生産性向上に資する管理点など、世界的にも先進的な内容の導入

農業及び環境の持続可能性を高めるものであること

(4) 開発の経緯

平成 27 年度の農林水産省「輸出用 GAP 等普及推進事業」による補助も受け、我が国の農業者が使いやすく国際的な取引にも通用する日本発の GAP として開発してきました。具体的には、日本 GAP 協会が事務局となって輸出用 GAP 等開発委員会を組織し、農業生産者、JA、普及指導員、食品流通業者、食品企業、農業資材業者、学識経験者等、70 名にもわたる委員の審議を重ねてきました。

Basic と Advance の関係

JGAP Basic の基準書には、JGAP Advance のみで要求される項目 (「JGAP Advance 専用項目」) が付属しており、これに追加して取り組めば、JGAP Advance への移行が容易に行えます (JGAP Advance 専用項目は、食の安全、労務管理、マネジメント等に関する詳細なもの)。

JGAP Basic は、JGAP 認証農場が取り組みやすい、現行 JGAP 2010/2012 の水準を基本としていますが、人権・労務管理、生産性、環境保全等、JGAP を特徴づける管理点は JGAP Basic も十分なものを備えています。

NEWS RELEASE

JGAP 認証制度は、農場が認証を取るために取り組むチェックリストである「管理点と適合基準」(個別で取り組む場合は農場用、団体で取り組む場合は農場用及び団体事務局用を使用)と、認証制度を運営するための総合ルールである「総合規則」の二つの文書から成る。

名称	農場用 管理点と適合基準	団体事務局用 管理点と適合基準	総合規則
JGAP Basic 2016	JGAP Basic	Basic / Advance 共通	Basic / Advance 共通
JGAP Advance 2016	JGAP Advance 専用項目 + JGAP Basic		

当面のスケジュール

- 新基準書の普及のための研修資料の作成、審査・認証の開始に向けた認定機関及び審査・認証機関との調整、新基準書の英訳及び GFSI 事務局との調整等に着手。
- 現行の基準書である JGAP 2010/2012 から新たな基準書である JGAP 2016 への変更点について 1 日でコンパクトに解説する研修を 2016 年 6 月 20 日より開始し、以降、JGAP 2016 の基礎を 2 日間で学ぶ JGAP 基礎研修等、順次研修を開催。
- 2016 年 9 月 1 日より新たな基準書の審査受付を開始 (現行の JGAP2010/2012 による審査も 2017 年 8 月 31 日まで並行して受付)。